

政策7 「県土の保全と災害に強い地域づくり」

政策7「県土の保全と災害に強い地域づくり」は、県民が安全に安心して暮らせるようハード・ソフト両面から、自然災害に強い地域づくりを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策7の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は49.1%、低認知度群は50.8%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高認知度群の割合は、

性別では、男性(52.7%)が女性(46.2%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(58.6%)が65歳未満(46.1%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、大崎圏域(58.6%)が9.5ポイント、気仙沼・本吉圏域(55.8%)が6.7ポイント高い。

仙南圏域(44.1%)が、回答者全体と比較して5ポイント低い。

(%)

政策7 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	4.5	44.6	49.1	42.3	8.5	50.8	100.0

性別	男性	5.4	47.3	52.7	39.8	7.4	47.2	100.0
	女性	3.7	42.5	46.2	44.4	9.4	53.8	100.0
年齢別	65歳未満	4.0	42.1	46.1	45.0	9.0	54.0	100.0
	65歳以上	6.2	52.4	58.6	34.5	6.9	41.4	100.0

圏域別	仙台	3.3	42.6	45.9	46.4	7.7	54.1	100.0
	仙南	4.4	39.7	44.1	47.6	8.3	55.9	100.0
	大崎	6.6	52.0	58.6	32.2	9.3	41.5	100.0
	栗原	5.5	39.8	45.3	46.5	8.2	54.7	100.0
	登米	2.8	45.3	48.1	42.5	9.3	51.8	100.0
	石巻	5.5	42.9	48.4	40.7	11.0	51.7	100.0
	気仙沼・本吉	4.0	51.8	55.8	38.5	5.7	44.2	100.0

有効回答者数 1,606 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は74.2%、低認知度群は25.7%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（90.9%）が16.7ポイント、気仙沼・本吉圏域（89.5%）が15.3ポイント、栗原圏域（85.7%）が11.5ポイント高い。

仙台圏域（68.4%）が、回答者全体と比較して5.8ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は71.0%、低認知度群は29.0%である。

(%)

政策7 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	10.6	63.6	74.2	22.7	3.0	25.7	100.0	
圏 域 別	仙台	10.5	68.4	26.3	5.3	31.6	100.0	
	仙南	12.7	61.8	74.5	23.6	1.8	25.4	100.0
	大崎	11.5	60.3	71.8	25.6	2.6	28.2	100.0
	栗原	14.3	71.4	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	9.1	81.8	90.9	9.1	0.0	9.1	100.0
	石巻	18.2	54.5	72.7	22.7	4.5	27.2	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	89.5	89.5	10.5	0.0	10.5	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	12.9	58.1	71.0	29.0	0.0	29.0	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 62 名

2. 政策7の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は90.3%、低関心度群は9.6%である。

一般県民における、性別、65歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性(90.4%)が女性(90.3%)よりも高い。

65歳年齢区分別では、65歳以上(93.9%)が65歳未満(89.1%)よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に5ポイント以上差がある圏域はない。

(%)

政策7 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	39.1	51.2	90.3	8.3	1.3	9.6	100.0

性別	男性	39.6	50.8	90.4	8.3	1.3	9.6	100.0
	女性	38.7	51.6	90.3	8.6	1.2	9.8	100.0
年齢別	65歳未満	35.4	53.7	89.1	9.6	1.3	10.9	100.0
	65歳以上	50.0	43.9	93.9	5.2	0.9	6.1	100.0

圏域別	仙台	42.8	48.4	91.2	7.4	1.4	8.8	100.0
	仙南	33.5	57.6	91.1	8.1	0.8	8.9	100.0
	大崎	40.9	49.4	90.3	7.7	2.1	9.8	100.0
	栗原	39.1	49.6	88.7	10.9	0.4	11.3	100.0
	登米	36.5	50.9	87.4	11.7	0.9	12.6	100.0
	石巻	39.1	51.6	90.7	7.6	1.6	9.2	100.0
	気山沼・本吉	42.2	51.4	93.6	6.0	0.4	6.4	100.0

有効回答者数 1,657 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は93.8%、低関心度群は6.3%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

登米圏域（100.0%）では、回答者全体と比較して6.2ポイント高い。

栗原圏域（85.7%）では、回答者全体と比較して8.1ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は98.5%、低関心度群は1.5%である。

(%)

政策7 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	46.0	47.8	93.8	6.0	0.3	6.3	100.0	
圏 域 別	仙台	41.0	47.9	88.9	10.3	0.9	11.2	100.0
	仙南	42.9	53.6	96.5	3.6	0.0	3.6	100.0
	大崎	48.7	48.7	97.4	2.6	0.0	2.6	100.0
	栗原	57.1	28.6	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	45.5	54.5	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	65.2	26.1	91.3	8.7	0.0	8.7	100.0
	気山沼・本吉	42.1	55.3	97.4	2.6	0.0	2.6	100.0

有効回答者数 335 名

学識者等全体	59.1	39.4	98.5	1.5	0.0	1.5	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策7の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より41.3%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は85.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は25.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より34.2%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は80.0点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は60.0点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は20.0点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より37.3%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	7.8	(92.2)
満足度 60点未満の割合		49.1
要検討領域にある回答者全体の割合		41.3

有効回答者数；重視度 1,648人、満足度 1,637人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策7重視度	政策7満足度
度数	有効	1648	1637
	欠損値	73	84
平均値		79.87	55.29
平均値の標準誤差		.382	.435
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.516	17.586
分散		240.739	309.266
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	85.0	60.0	25.0
第1四分位数(25パーセントイル)	75.0	50.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.6	(96.4)
満足度 60点未満の割合		37.8
要検討領域にある回答者全体の割合		34.2

有効回答者数；重視度 338人、満足度 336人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策7重視度	政策7満足度
度数	有効	338	336
	欠損値	0	2
平均値		82.60	58.87
平均値の標準誤差		.742	.819
中央値		85.00	60.00
最頻値		90	70
標準偏差		13.636	15.019
分散		185.931	225.583
範囲		90	90
最小値		10	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	75.00	50.00
	40	80.00	60.00
	50	85.00	60.00
	60	90.00	65.00
	75	90.00	70.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	75.0	50.0	25.0
第3四分位数(75パーセントイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	3.0	(97.0)
満足度 60点未満の割合		40.3
要検討領域にある回答者全体の割合		37.3

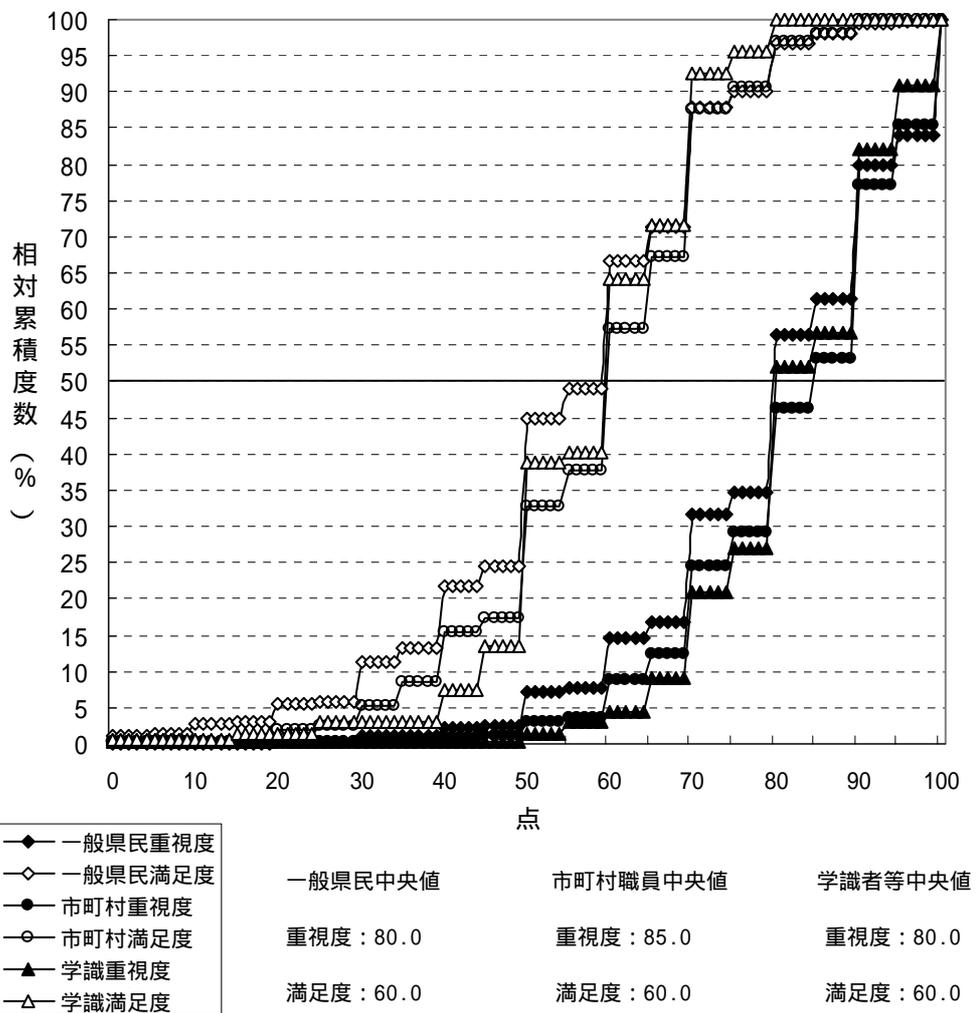
有効回答者数；重視度 67人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策7重視度	政策7満足度
度数	有効	67	67
	欠損値	2	2
平均値		82.61	58.21
平均値の標準誤差		1.392	1.506
中央値		80.00	60.00
最頻値		80 ^a	50
標準偏差		11.394	12.331
分散		129.817	152.047
範囲		50	65
最小値		50	15
最大値		100	80
パーセントイル	25	75.00	50.00
	40	80.00	56.00
	50	80.00	60.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	70.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

「政策7 県土の保全と災害に強い地域づくり」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、女性（60.0点）が男性（55.0点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性（25.0点）が女性（20.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性（15.0点）が女性（10.0点）よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性43.9%、女性38.9%と推定できる。

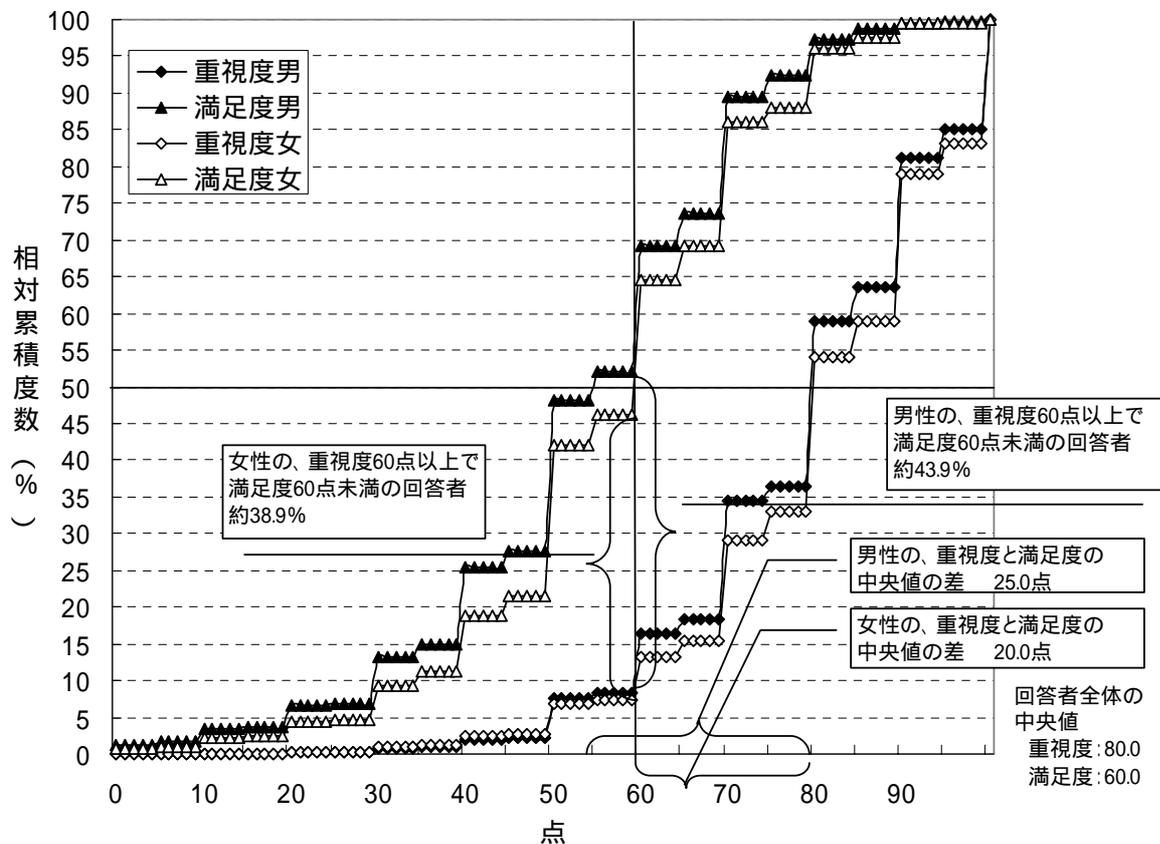
中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	55.0	60.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	40.0	50.0
	かい離	20.0	30.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	70.0	70.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	15.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性		女性	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	8.2	(91.8)	7.4	(92.6)
満足度 60点未満の割合	52.1		46.3	
要検討領域にある回答者全体の割合	43.9		38.9	

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策7重視度	政策7満足度
度数	有効	777	772
	欠損値	26	31
平均値		79.17	53.80
平均値の標準誤差		.555	.643
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.471	17.852
分散		239.355	318.699
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	40.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策7重視度	政策7満足度
度数	有効	852	847
	欠損値	44	49
平均値		80.58	56.74
平均値の標準誤差		.530	.590
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.482	17.182
分散		239.681	295.220
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	90.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 2 - 2 65歳年齢区別

重視度の中央値は、65歳未満、65歳以上ともに80.0点で同じである。

満足度の中央値は、65歳未満（57.5点）が65歳以上（60.0点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65歳未満（22.5点）が65歳以上（20.0点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65歳未満、65歳以上ともに10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65歳未満（11.9点）が65歳以上（10.0点）よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65歳未満42.5%、65歳以上38.0%と推定できる。

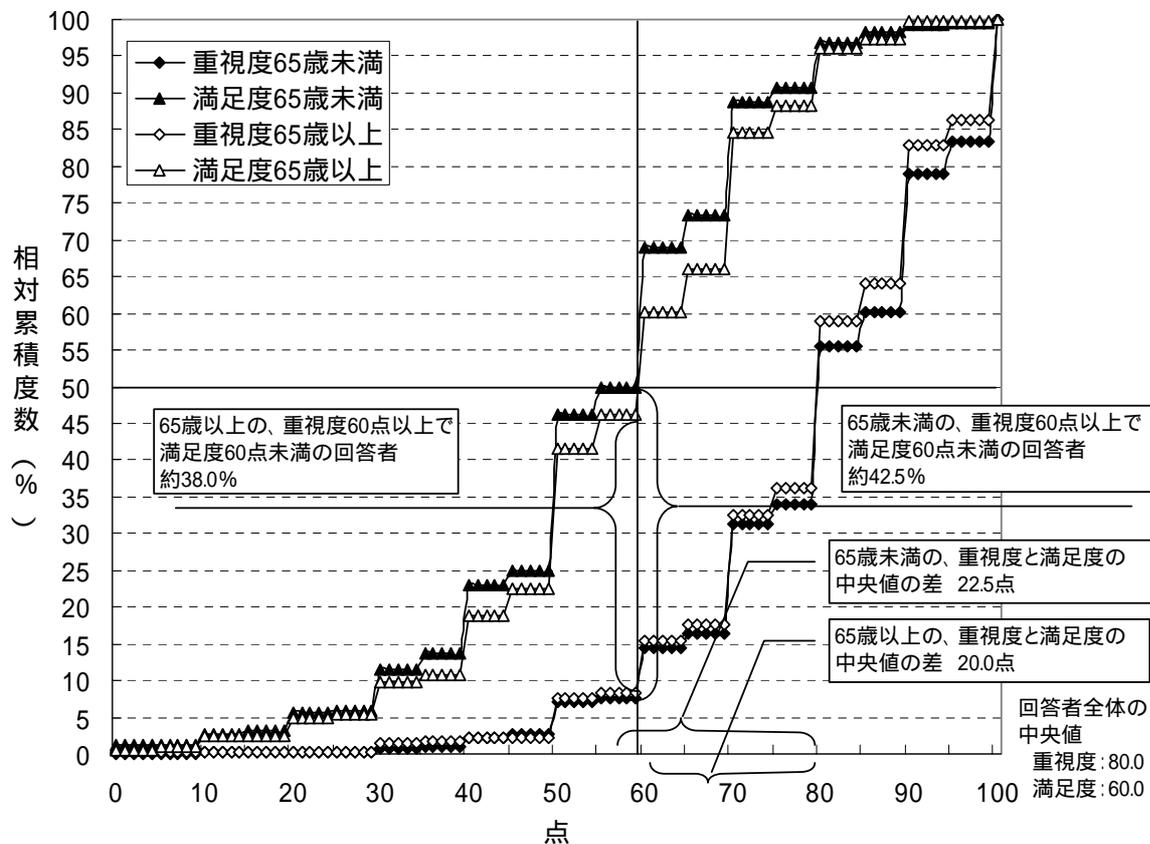
中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65歳未満	65歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	57.5	60.0
	かい離	20.0	22.5	20.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	46.3	50.0
	かい離	20.0	23.8	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	70.0	70.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	11.9	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65歳未満	65歳以上
重視度60点未満の割合(60点以上の割合)	7.5 (92.5)	8.3 (91.7)
満足度60点未満の割合	50.0	46.3
要検討領域にある回答者全体の割合	42.5	38.0

(一般県民)65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民)65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策7重視度	政策7満足度
度数	有効	1207	1200
	欠損値	33	40
平均値		80.21	54.74
平均値の標準誤差		.447	.507
中央値		80.00	57.50
最頻値		80	50
標準偏差		15.546	17.557
分散		241.665	308.232
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	46.25
	40	80.00	50.00
	50	80.00	57.50
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

(一般県民)65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策7重視度	政策7満足度
度数	有効	420	417
	欠損値	37	40
平均値		79.13	57.09
平均値の標準誤差		.745	.855
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.271	17.461
分散		233.193	304.892
範囲		70	100
最小値		30	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体(80.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、仙南圏域(55.0点)、栗原圏域(55.0点)、気仙沼・本吉圏域(55.0点)の3圏域が回答者全体(60.0点)よりも5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、すべての圏域が10.0点で同じである。

満足度の四分位偏差は、仙南圏域(12.5点)、栗原圏域(12.5点)、気仙沼・本吉圏域(12.5点)、仙台圏域(11.9点)の4圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(90.0点)、気仙沼・本吉圏域(90.0点)の2圏域が回答者全体(85.0点)よりも5ポイント高く、石巻圏域(80.0点)が5ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域(65.0点)、栗原圏域(65.0点)の2圏域が回答者全体(60.0点)よりも5ポイント高く、石巻圏域(55.0点)が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、仙台圏域(12.5点)、気仙沼・本吉圏域(10.0点)、登米圏域(8.8点)の3圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、石巻圏域(5.0点)が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(15.0点)、登米圏域(11.9点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、栗原圏域(7.5点)、仙南圏域(5.6点)の2圏域が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	55.0	60.0	55.0	60.0	60.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	20.0	25.0	20.0	20.0	25.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	46.3	40.0	50.0	45.0	50.0	50.0	45.0
	かい離	20.0	23.8	30.0	20.0	25.0	20.0	20.0	25.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	70.0	65.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	11.9	12.5	10.0	12.5	10.0	10.0	12.5

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	85.0	85.0	85.0	85.0	90.0	82.5	80.0	90.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	65.0	65.0	60.0	55.0	60.0
	かい離	25.0	25.0	25.0	20.0	25.0	22.5	25.0	30.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	75.0	70.0	75.0	75.0	80.0	71.3	80.0	75.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	55.0	50.0	40.0	50.0
	かい離	25.0	20.0	25.0	25.0	25.0	21.3	40.0	25.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	95.0	90.0	90.0	95.0	88.8	90.0	95.0
	満足度	70.0	70.0	61.3	70.0	70.0	73.8	70.0	70.0
	かい離	20.0	25.0	28.8	20.0	25.0	15.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	7.5	12.5	7.5	7.5	7.5	8.8	5.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	5.6	10.0	7.5	11.9	15.0	10.0

4. 政策7各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第1位は施策1「地域ぐるみの防災体制整備」(31.6%)である。

第2位は施策6「地震防災のために必要な施設、設備の整備」(23.3%)である。

第3位は施策5「震災対策の推進」(20.5%)である。

市町村職員では、

第1位は施策1「地域ぐるみの防災体制整備」(43.8%)である。

第2位は施策5「震災対策の推進」(23.7%)である。

第3位は施策6「地震防災のために必要な施設、設備の整備」(12.4%)である。

学識者では、

第1位は施策1「地域ぐるみの防災体制整備」(35.8%)である。

第2位は施策5「震災対策の推進」(32.8%)である。

第3位は施策6「地震防災のために必要な施設、設備の整備」(11.9%)である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男性女性とも、回答者全体と同じである。

65歳年齢区分別

一般県民では、

65歳年齢区分別毎の各施策の優先度は、65歳未満65歳以上とも、回答者全体と同じである。

圏域別

一般県民では、

第1位は、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の5圏域では施策1「地域ぐるみの防災体制整備」、仙台圏域では施策6「地震防災のために必要な施設、設備の整備」、石巻圏域では施策5「震災対策の推進」である。

第2位は、仙南、大崎、栗原、登米の4圏域では施策6「地震防災のために必要な施設、設備の整備」、仙台、石巻の2圏域では施策1「地域ぐるみの防災体制整備」、気仙沼・本

吉圏域では施策 4「高潮や高波等による災害に強い海岸の整備」である。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原、登米、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 5「震災対策の推進」、石巻圏域では施策 6「地震防災のために必要な施設、設備の整備」である。

市町村職員では、

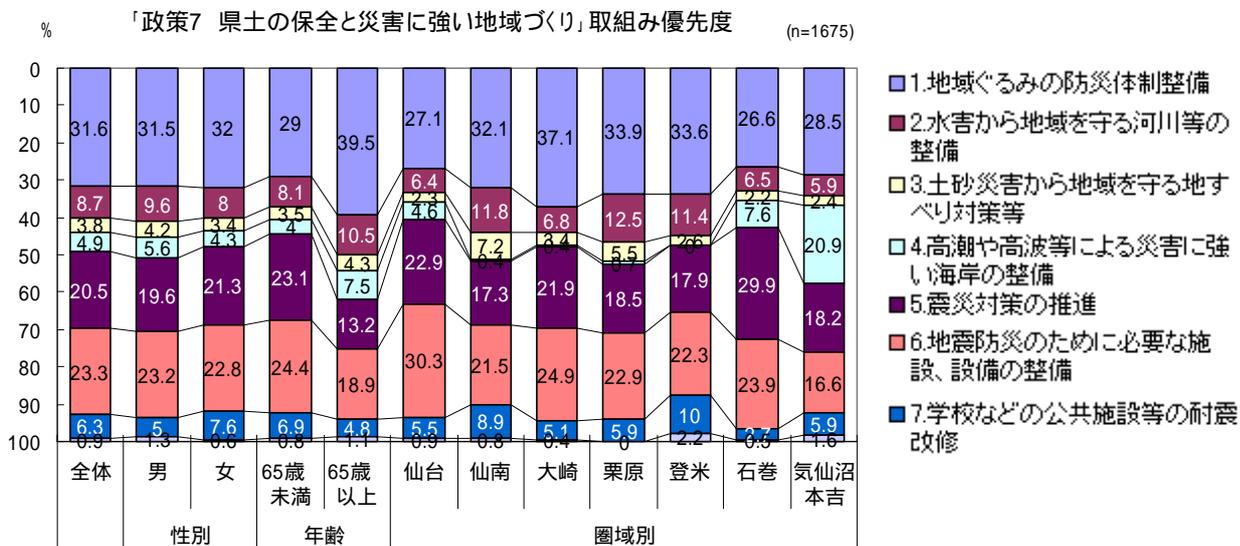
第 1 位は、仙台、仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 1「地域ぐるみの防災体制整備」、栗原圏域では施策 2「水害から地域を守る河川等の整備」である。

第 2 位は、仙台、仙南、大崎、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 5「震災対策の推進」、栗原圏域では施策 1「地域ぐるみの防災体制整備」、石巻圏域では施策 7「学校などの公共施設等の耐震改修」である。

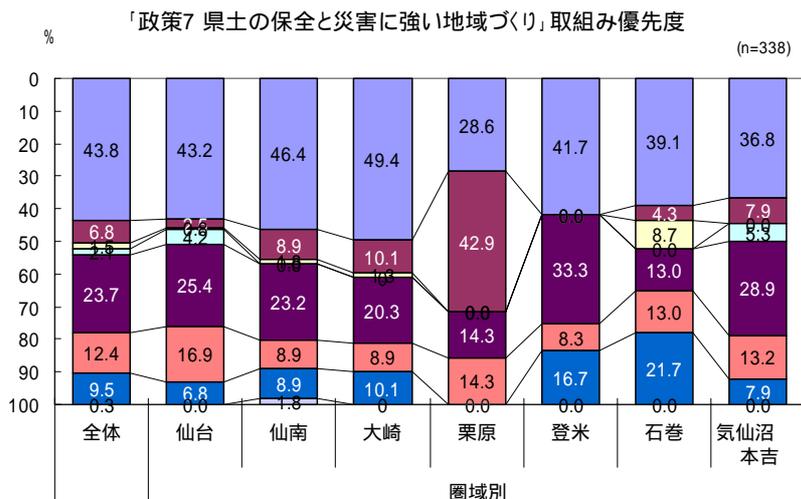
第 3 位は、仙台、仙南、栗原、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 6「地震防災のために必要な施設、設備の整備」、仙南、大崎、登米の 3 圏域では施策 7「学校などの公共施設等の耐震改修」、仙南、大崎の 2 圏域では施策 2「水害から地域を守る河川等の整備」、栗原、石巻の 2 圏域では施策 5「震災対策の推進」である（仙南圏域では施策 2 と施策 6 と施策 7、大崎圏域では施策 2 と施策 7、栗原圏域では施策 5 と施策 6、石巻圏域では施策 5 と施策 6 が共に第 3 位になっている）。

政策7「県土の保全と災害に強い地域づくり」

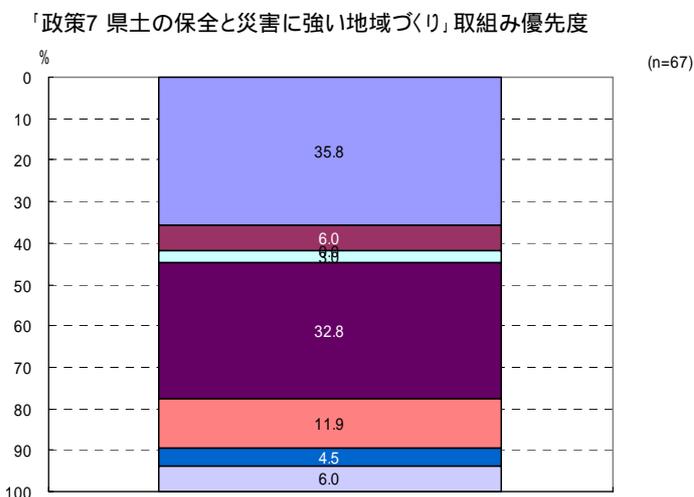
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策7「県土の保全と災害に強い地域づくり」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.地域ぐるみの防災体制整備	31.6	31.5	32.0	29.0	39.5	27.1	32.1	37.1	33.9	33.6	26.6	28.5
2	2.水害から地域を守る河川等の整備	8.7	9.6	8.0	8.1	10.5	6.4	11.8	6.8	12.5	11.4	6.5	5.9
3	3.土砂災害から地域を守る地すべり対策等	3.8	4.2	3.4	3.5	4.3	2.3	7.2	3.4	5.5	2.6	2.2	2.4
4	4.高潮や高波等による災害に強い海岸の整備	4.9	5.6	4.3	4.0	7.5	4.6	0.4	0.4	0.7	0.0	7.6	20.9
5	5.震災対策の推進	20.5	19.6	21.3	23.1	13.2	22.9	17.3	21.9	18.5	17.9	29.9	18.2
6	6.地震防災のために必要な施設、設備の整備	23.3	23.2	22.8	24.4	18.9	30.3	21.5	24.9	22.9	22.3	23.9	16.6
7	7.学校などの公共施設等の耐震改修	6.3	5.0	7.6	6.9	4.8	5.5	8.9	5.1	5.9	10.0	2.7	5.9
8	8.その他	0.9	1.3	0.6	0.8	1.1	0.9	0.8	0.4	0.0	2.2	0.5	1.6

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.地域ぐるみの防災体制整備	43.8	43.2	46.4	49.4	28.6	41.7	39.1	36.8
2	2.水害から地域を守る河川等の整備	6.8	2.5	8.9	10.1	42.9	0.0	4.3	7.9
3	3.土砂災害から地域を守る地すべり対策等	1.5	0.8	1.8	1.3	0.0	0.0	8.7	0.0
4	4.高潮や高波等による災害に強い海岸の整備	2.1	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
5	5.震災対策の推進	23.7	25.4	23.2	20.3	14.3	33.3	13.0	28.9
6	6.地震防災のために必要な施設、設備の整備	12.4	16.9	8.9	8.9	14.3	8.3	13.0	13.2
7	7.学校などの公共施設等の耐震改修	9.5	6.8	8.9	10.1	0.0	16.7	21.7	7.9
8	8.その他	0.3	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.地域ぐるみの防災体制整備	35.8
2	2.水害から地域を守る河川等の整備	6.0
3	3.土砂災害から地域を守る地すべり対策等	0.0
4	4.高潮や高波等による災害に強い海岸の整備	3.0
5	5.震災対策の推進	32.8
6	6.地震防災のために必要な施設、設備の整備	11.9
7	7.学校などの公共施設等の耐震改修	4.5
8	8.その他	6.0

